

2016年3月31日

グローバル農薬事業の一層の強化 ～化学農薬とバイオラショナルの研究・登録機能の統合～

住友化学は、グローバル農薬事業の一層の体制強化を図る目的で、4月1日から、化学農薬とバイオラショナル*の研究機能と農薬登録の機能を統合し、事業運営の一体化をさらに推し進めることといたしました。

2015年4月には、それまで住友化学と米国のベーラント・バイオサイエンス社（以下、VBC社）が、個々に行っていた事業運営体制を強化し、化学農薬とバイオラショナルのマーケティング、プロダクトマネジメント、新規製品開発、事業開発、事業企画の各機能を統合して、住友化学が統括する体制を整えました。このたびの研究と農薬登録の機能の統合によって、化学農薬とバイオラショナルに関する事業運営の基本的な機能は全て統合され、グローバルな一体化がさらに進むことになります。

住友化学は、14年のVBC社の微生物農薬原体工場の新設や、15年の同社による菌根菌事業を行うマイコライザル・アプリケーションズ社の買収など、近年もバイオラショナルの分野で事業を拡大しています。当社は、今回のさらなる体制強化によって、グループ各社が有する化学農薬とバイオラショナルにおける多様な経営資源を最大限に活用し、農業分野における革新的なソリューションの開発を加速するなど、市場におけるニーズに対してこれまで以上に迅速・的確に対応することで、世界的に需要の高まる安全・安心な食糧の安定供給に貢献してまいります。

* 住友化学グループでは、天然物由来などの微生物農薬、植物生長調整剤、微生物農業資材等や、それらを用いて作物を病害虫から保護したり、作物の品質や収量を向上させたりするソリューションを「バイオラショナル」と定義しています。

<VBC社の概要>

会社名	Valent BioSciences Corporation
所在地	米国イリノイ州リバティーヴィル
設立年月	2000年1月
社長	Andrew Lee (アンドリュー リー)
事業内容	バイオラショナルの研究・開発・製造・販売
持株比率	ベーラント U.S.A.社 100% (ベーラント U.S.A.社は、住友化学の100%子会社)

以上